

# 先輩からアドバイスを受け、経験談を聞く

懇親会と講演会の二部構成 YKS2017全国合同勉強会



在日同胞若手研究者の会(Young Korean Scientists; 以下YKS)が主催する全国合同勉強会が2017年11月11日(土)から11月12日(日)にかけて、東京都内にて開催されました。この勉強会は、在日同胞若手研究者達の知識交流の場としての役割を担うべく、関西・関東定例勉強会(年4回)に並ぶ年に一度の行事として催されており、13回目の開催となりました。今年の勉強会には、北は東北から南は九州にいたるまでの全国各地から学生、研究者、企業人、エンジニアら総勢20名が参加し、大盛況となりました。

勉強会は第一部懇親会、第二部講演会(写真)の二部構成で進行しました。

第一部の懇親会では、YKSの卒業生の先輩方をお招きし、ざっくばらんに意見を交換し合う場を設けることで、世代を超えた在日コリアン研究者同士の交流を目指しました。YKSの卒業生たちは現在、30~40代の研究者・エンジニアとして分野の第一線で活躍しています。20~30代のYKS参加者達は、そのような先輩たちからアドバイスを受けたり、過去の経験談を聞くことで、研究のビジョンや将来のキャリアプランを思い描く貴重な機会を得ることができました。また、次世代を

担う学生・若手参加者同士の交流も深まり、大変意義深い場となりました。

第二部の講演会では、慶應義塾大学 政策・メディア研究科 金成主先生をお招きし、「自然知能:物理の計算能力を活用した知能発現」という題でご講演をいただきました。講演では、現在一般的に使われている計算機が抱える理論的問題と、その代替としての「自然知能」という新しい計算機コンセプトを軸として、これまでに取り組まれた研究や、最新の研究成果についてお話をいただきました。参加者たちからは講演中にも質問が飛び交い、お互いの知的好奇心を強く刺激する場となりました。また学術的な内容に加え、研究人生で出会った苦労話や、研究者としてのキャリアに関するお話など、重要な経験談を語っていただきました。

全国に散らばる在日コリアン科学者達が一堂に集まり知識交流を深めるこのような貴重な場を設けるために、今年も成和記念財団様の学術活動支援を拝受する事となりました。貴財団の御厚意により、大変有意義な会を催す事ができました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

【YKS2017全国合同勉強会事務局】